



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 20 日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県不破郡垂井町御所野1414

氏 名 ナブテスコ株式会社 垂井工場

垂井工場長 弘津 聡一郎

電話番号 0584-22-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ナブテスコ株式会社 垂井工場
事業場の所在地	岐阜県不破郡垂井町御所野1414
計画期間	令和6年 4月1日から 令和7年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：金属製品製造業 小分類：建設用・建築用金属製品製造業
② 事業の規模	売上高 206.2億円
③ 従業員数	383人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①を参照願います。

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理組織：

廃棄物量集計表 → 総務部 安全環境課

廃棄物置場維持管理 → 協力会社(ナブテスコリンク)

廃棄物関連業者管理 → 総務部 安全環境課

マニフェスト管理 → 総務部 安全環境課

廃棄物量集計作成 → 総務部 安全環境課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙②「前年度実績」欄を参照願います。
	排出量		
	（これまでに実施した取組） 貨物用木製パレットのリサイクル化 廃油のリサイクル化 廃プラスチックのリサイクル化 ガラス・陶磁器屑のリサイクル化 埋立廃棄物の焼却リサイクル化 金属屑の有価取引 表面処理工場廃止に伴う特別管理産業廃棄物の廃止		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙②「今年度実績」欄を参照願います。
	排出量		
	（今後実施する予定の取組） 廃液処理設備の導入（2024年度の夏季に稼動予定）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥：切削材料の取り代削減による減量化 蛍光灯・電球：LED化、検知式への変更
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 塗装廃液の排出量削減

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙②「前年度実績」欄を参照願います。 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙②「今年度実績」欄を参照願います。 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙②「前年度実績」欄を参照願います。 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙②「今年度実績」欄を参照願います。 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙②「前年度実績」欄を参照願います。 t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙②「今年度実績」欄を参照願います。 t t
	(今後実施する予定の取組) 廃液処理装置での処理による排出量削減	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

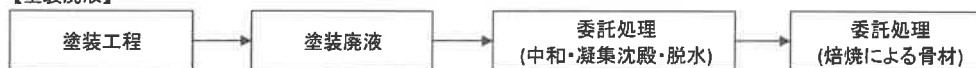
①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 廃液運搬業者及び処理業者への監査 産業廃棄物引取り業者への許可証の確認	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙②「今年度実績」欄を参照願います。	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物引取り業者への監査の継続 廃液処理業者との契約数の増加		
※事務処理欄			

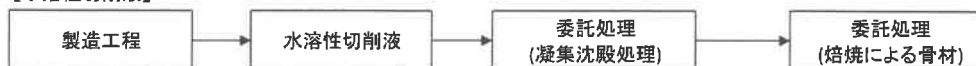
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【塗装廃液】



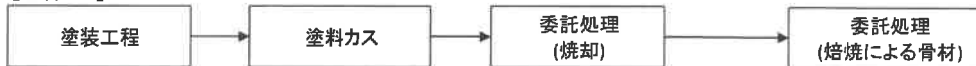
【水溶性切削液】



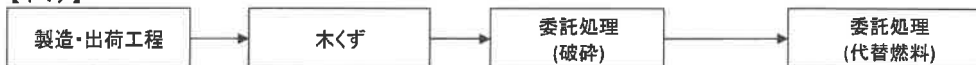
【廃液・廃油】



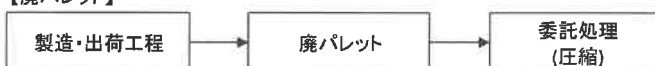
【塗料カス】



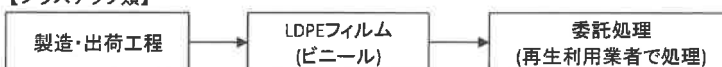
【木くず】



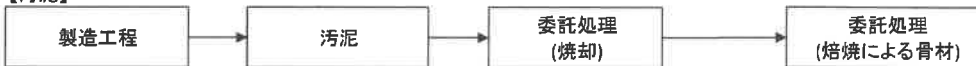
【廃パレット】



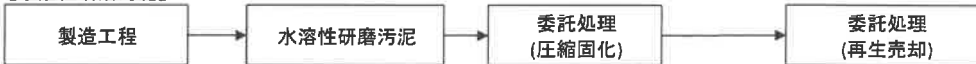
【プラスチック類】



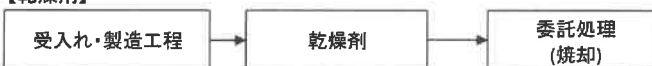
【汚泥】



【水溶性研磨汚泥】



【乾燥剤】



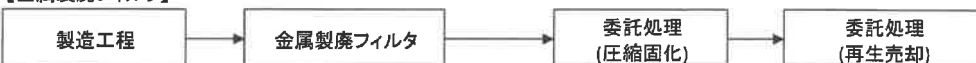
【乾電池】



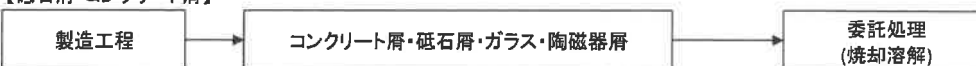
【プラスチック廃フィルタ】



【金属製廃フィルタ】



【砥石屑・コンクリート屑】



【複合材】



【廃プラスチック】

